

1. 科目名 (単位数)	教職実践演習 (小学校) (2単位)	3. 科目番号	EDTE4391
2. 授業担当教員	古俣 龍一	5. 開講学期	秋期
4. 授業形態	講義、演習、実習等を適宜利用する		
6. 履修条件・他科目との関係	小学校教員資格に関わる全ての授業を既習していることが望ましい。 該当する教員免許状の希望者を受講対象者として、履修カルテを使用した授業を実施することから、履修できる学生は、小学校教諭の資格課程登録者のみとする。		
7. 講義概要	教職実践演習 (小学校) は、本学の教員養成に必要な「理論と実践」の融合を目指す科目として設定されている。これまでの学習を通じて身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、最終的に確認する科目である。 この科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることを期待して実施される科目である。		
8. 学習目標	教員として求められる資質・能力の形成に関して、以下の目標を設定し、達成することができる。 ① 職務遂行に必要な使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項を再確認する。 ② 社会性や対人関係能力に関する事項の発揮に関しての再確認をする。 ③ 実習等で得られた幼児・児童・生徒理解の仕方や学級経営の在り方等に関する事項の再確認をする。 ④ 教科・領域等教育課程の実施に当たった指導力・実践力に関する事項の再確認をする。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	・教科指導等の内容、生活指導に関する諸課題、学級経営に関する留意点等にかかわる講義に関して、指示のあった課題についてレポートを提出する。締切日は厳守すること。 ・模擬授業については、指導案の作成および振り返りをし、レポートとして提出する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 ・文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版社 (現行および新解説書) ・その他の資料は必要に応じて適宜準備する 【参考書】 ・古俣龍一『トラベジウム』佳文社 (適宜資料は配布) ・各自の「教職履修カルテ」と「教育実習日誌」(第1回目の授業の際に回収する) ・必要に応じて適宜提示する		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 学習目標の実現度において評価する。 ○評定の方法 日々の授業態度、参加度 30% レポート課題 40% 日常の学習状況 30%		
12. 受講生へのメッセージ	本授業はこれから教育現場へ赴くみなさんに対して、教員として必要となる資質を身につけるにはどのようなことが重要なかを学習します。おもな学習目標は以下の項目に示します。みなさんはこれらの目標を達成することが目的となります。 ①職務に対して使命感や責任感をもち、児童に対する愛情を豊かにもち続けるには ②教科や領域などの指導力に関して実践力を身につけるには ③社会性や対人関係能力に関する資質を身につけるには ④児童理解や学級経営などに関する基礎的な能力を身につけるには ⑤学校組織の一員として有用な力を発揮できるような能力を身につけるには これらの学習目標を達成するために事例検討やディスカッション、ロールプレイなどを通してみなさんで学び合い、即戦力としての力を身につけていきましょう。 注) なお、「対面・遠隔併用授業」が実施される場合においても、基本的には本授業内容に沿って進めていくものとしますが、必要に応じて一部内容の変更もあり得ることを理解しておいてください。その際には、事前に周知します。		
13. オフィスアワー	・オリエンテーション時に伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	○オリエンテーション (講義・ディスカッション) ・本授業の内容と流れの確認 ・「教職履修カルテ」と「教育実習日誌」から各自の成果と課題を明確にし、課題解決のために何を行うかを発表する	事前学習	本授業のシラバスの確認 教職履修カルテと教育実習日誌の通読と自己課題の把握
		事後学習	自己課題解決のための今後の取り組みのまとめ
第2回	○教育実習における課題 (講義・ディスカッション) ・各自の課題についての発表とその解決に向けてのディスカッション	事前学習	教育実習における成果と課題の確認
		事後学習	教育実習での成果と課題の再確認および今後の展望
第3回	○学習指導要領の変遷および現行の学習指導要領について (講義・ディスカッション) ・「新学力観」の考え方 ディスカッション	事前学習	現行の学指導要領のポイントの把握
		事後学習	学習指導要領の変遷と現行の学習指導要領における重要点の理解
第4回	○学級指導の実例1 (講義・ディスカッション) ・学校、学年経営案の提示および学級経営案の書き方演習	事前学習	学級経営にかかわる留意点の把握
		事後学習	校務分掌の理解と組織の一員としての自覚およびその中での学級経営の実例についての理解
第5回	○学級指導の実例2 (講義・ディスカッション)	事前学習	pp. 67-68、pp. 246-248 および関連したページ

	・事例1 トラペジウム ディスカッション		の講読
		事後学習	個に応じた指導の重要性への理解
第6回	○学級指導の実際3(講義・ディスカッション) ・事例2 トラペジウム ディスカッション	事前学習	pp. 111-112 および関連したページの講読
		事後学習	具体的な学級経営の実際例の理解とその応用の構想
第7回	○第1回ディベートオリエンテーション	事前学習	1回目となるディベートのテーマを考える
		事後学習	決定したテーマについての考えをまとめる
第8回	○第1回ディベート大会	事前学習	自分の立場と関連する意見をまとめる
		事後学習	第1回目のディベートを振り返り、2回目に向けて準備する
第9回	○子供の力を引き出す教師2(講義・ディスカッション) ・現場教師もしくは指導主事等による実践報告・意見交換	事前学習	「学習指導要領解説」総則編の指導計画作成の配慮事項を読み直す
		事後学習	先輩教師の実践やアドバイスを元に自己課題をまとめる
第10回	○指導力を高めるための教材研究と授業のあり方 ・学習指導案の書き方の確認 演習・ディスカッション	事前学習	学習指導案の作成の再確認
		事後学習	指定された形式での学習指導案の作成、模擬授業の準備
第11回	○代表者による模擬授業1 ・振り返り グループディスカッションと発表	事前学習	模擬授業に向けての諸準備
		事後学習	模擬授業における指摘箇所の確認と今後に向けてのまとめ
第12回	○代表者による模擬授業2 ・振り返り グループディスカッションと発表	事前学習	模擬授業に向けての諸準備
		事後学習	模擬授業における指摘箇所の確認と今後に向けてのまとめ
第13回	○第2回ディベートオリエンテーション	事前学習	2回目となるディベートのテーマを考える
		事後学習	決定したテーマについての考えをまとめる
第14回	○第2回ディベート大会	事前学習	自分の立場と関連する意見をまとめる
		事後学習	第2回目のディベートを振り返る
第15回	○本授業の振り返りとまとめ ・履修カルテを見ながら4年間を振り返る ・まとめのレポート 発表およびディスカッション	事前学習	「教育実践演習」を通しての成果と課題の整理
		事後学習	教員としての力量向上のための自己課題の整理と教師に向けての意志確認